

## 施設廃止等によるコスト削減シミュレーション

基本方針の実施による財政負担の縮減目標（今後 30 年間で公共施設等の更新及び大規模改修に係る経費の 20%を削減）を踏まえて、目標達成に必要な施設等の削減に係る規模感を図るため、下記の前提条件により試算を行う。

### I. 前提条件

ハコモノについては、既に検討が進められている下記の計画の実行により縮減可能なコストを試算する。インフラについては、用途別方針（案）に掲げる「予防保全に基づく施設の長寿命化」により、目標耐用年数を設定し、30 年間のコストを試算する。

#### ハコモノ

- ① 下野市学校適正配置基本計画（平成 25 年 11 月）
- ② 下野市公立保育園民営化実施計画（第 2 次素案）

①、②の計 6 施設（14,374 m<sup>2</sup>）をハコモノの試算対象とする。

#### インフラ

施設類型	施設種別	耐用年数（年）		備 考
		従来	長寿命化	
道 路	舗 装	15	/	
	橋りょう	60	80	近年の道路橋示方書では適切な維持管理のもと 100 年以上の耐用年数を設計上の要求性能として いることや、他事例での目標耐用年数等を踏まえ 設定。
下水道	管路施設	50	60	「下水道施設のストックマネジメント手法に関する 手引き（案）国交省」における目標耐用年数の 設定例（一般管路 75 年）より設定。
	建物施設	60	/	
上水道	管路施設	40	/	
	建物施設	60	/	

## II. 試算結果

I. 前提条件により試算した、今後30年間（平成29～58年度）における経費の見通しについては下記のとおりとなる。

### ハコモノ （単位：億円）

	30年間の経費の見通し	年度平均
試算前	388	12.9
試算結果	352	11.7
差額（削減額）	36	1.2

30年間で約36億円のコスト削減額となり、ハコモノ全体でのコスト削減率は約9.3%（388億円⇒352億円）となる。また、ハコモノ・インフラ全体でのコスト削減率は約2.9%（1,290億円⇒1,253億円）となる。

### インフラ （単位：億円）

	30年間の経費の見通し	年度平均
試算前	902	30
試算結果	704	23.5
差額（削減額）	198	6.5

30年間で約198億円のコスト削減となり、インフラ全体でのコスト削減率は約22%（902億円⇒704億円）となる。また、ハコモノ・インフラ全体でのコスト削減率は約16.8%（1,290億円⇒1,092億円）となる。

### ハコモノ+インフラ （単位：億円）

	30年間の経費の見通し	年度平均
試算前	1,290	43
試算結果	1,056	35.2
差額（削減額）	234	7.8

30年間で約234億円のコスト削減となり、ハコモノ・インフラ全体でのコスト削減率は約18.1%（1,290億円⇒1,056億円）となる。